

議 事 録

件 名	令和7年度 第1回 久留米市男女平等推進センター運営委員会	
日 時	令和7年8月26日（火）14:00～15:50	
場 所	えーるピア久留米 210・211 研修室	
出席者	委員	永松委員、平田委員、堀田委員、池田委員、江藤委員、松本委員、檜原委員、樋口委員、笠委員、伊崎委員
	事務局	神代、大場、渡邊、高倉（男女平等推進センター）
	ワザパー	水落担当部長、森山次長
欠席委員	末崎委員、新開委員、酒井委員	
傍聴者	0名	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 次第 ② 委員長および副委員長の選出について ③ 【議事（1）】 令和6年度 事業概要 ④ 【議事（1）】 令和6年度 施設の利用実績 ⑤ 【議事（2）】 令和7年度 事業実施状況 ⑥ 【議事（2）】 令和7年度 施設の利用状況（6月末現在） ⑦ 【その他（1）】 男女平等推進センターにおける課題と今後の対応について ⑧ （参考）第13期 久留米市男女平等推進センター運営委員会 委員名簿 ⑨ （参考）久留米市男女平等推進センター運営委員会規則 ⑩ （参考）第4次久留米市男女共同参画行動計画（第3次久留米市DV対策基本計画） ⑪ （参考）令和6年度版 久留米市男女共同参画白書 	
議 事 内 容		
1 開会		
2 委員及び事務局紹介		
3 委員長・副委員長の選任		
4 議事		
(1) 令和6年度事業実績報告について		
(2) 令和7年度事業実施状況について		
5 その他		
(1) 男女平等推進センターにおける課題と今後の対応について		
(2) えーるピア久留米ZEB化改修について		
6 閉会		

議 事 内 容

【質疑応答・要望】

(1) 令和6年度事業報告について

(委 員) 市民ギャラリー利用人数について、昨年が多いと説明があったが、どういう理由で増えたのか。また、どういう団体が利用しているのか。

(事務局) この利用人数は、センターの登録団体及びセンター主催講座等で共用施設、生涯学習センター専用施設を利用した人数である。ギャラリーを使って展示をされた団体が多かったためと考えている。市との共催で福岡県退職者教職員の会の方など。久留米市の公用利用人数も増えている。

(委 員) センターにおける課題と今後の対応については文章化されているが、久留米女性週間記念事業についてはどのように統括し、今年度に向けての対応をどう考えているのか。

(事務局) 例年通り講演・映画・市民企画・展示・バザーを実施し、参加者数も令和5年度よりも増えているが、センターでの広報活動が遅かったことを反省点として、今年度は広報活動を早目に行うようにしている。

(委 員) 市民企画や展示等、そういった内容についての統括はどうか。

(事務局) 市民企画については、地域企画やえーるピアでの9企画をスムーズに実施できたと思う。展示については、団体の展示に加え、市役所の展示もあり活況だったと思う。

(2) 令和7年度事業実施状況について

(委 員) 今年度、新しく「ジェンダーかるた」の取組を行っている。昨年授業見学に来られたセンターの職員さんから、「ぜひ一緒にやりませんか」と言われたことから一緒に取り組んでいる。ありがたいことに学生が化学反応を起こし、ジェンダーに関するかるたが出来上がり、毎日新聞の取材を受けることになった。

このかるたの良いところは、作った学生の7割が男子というところで、最近男子の方がジェンダーレスで、素朴な視点の言葉が散りばめられている。こういったことを大学の中だけではなく、センターから来ていただいたことで、学生が化学反応を起こすことができたことにお礼を申し上げたい。

また、センターの展示を見た八女市の男女共同参画推進課から、9月に開催される八女市のシンポジウムに学生をパネリストにとのお願いがあり、周辺地域にも良い影響を与え、つながりができていることを報告させていただきたい。

(委 員) 1つ目は登録団体の利用人数が多くなった要因が何か教えていただきたい。
2つ目は図書情報ステーションの利用実績の新聞欄は、ずいぶん前から新聞を取らなくなっているため不要ではないか。

3つ目は基礎講座について、一番肝心な性別役割分担意識や歴史など、基本的な部分が入っていない。男女平等推進の拠点施設なので、根本のところは外せないため毎年お願いしている。お金がかからないシリーズなどで今年から考えてもらいたい。

4つ目は発達特性のあるお子さんの支援方法の講座に参加して、内容はとても素晴らしかったが、なぜ公募企画で採用されたのか疑問に思った。障害者の担当部門の主催でもよかったのではないか。なぜセンターですることになったかお聞きしたい。

5つ目はフォーラムの展示で、昨年は女性に対する性暴力関係が多く、男女平等の視点がない絵もあった。以前、図書が作成したわかりやすいイラストなどを使ったりと今年は工夫していただきたい。

6つ目は広報啓発事業の①広報紙の発行の括弧書き「第3次久留米市DV対策基本計画に基づき行う事業」とあるが、行動計画の間違ひではないか。②デジタル媒体による啓発・情報提供も同じ。事業概要でも間違っているのではないか。

7つ目は市民意識調査の結果でセンターの認知度が落ちているが、どのようにして認知度を上げていこうと思っているか。

(事務局) この3か月は、毎週のように利用される団体で、昨年よりも利用人数が増えている。新聞は取っていないため、欄を削除したい。

- (事務局) 昔からの性別役割分担意識など基本的なことを伝えるために、女性と労働の基礎講座の中に含める形で検討していきたい。
市民グループ公募企画を決定した理由は、発達特性がある子どもへの関わり方や支援で多様性を認めること、子育てはお母さんだけでなくお父さんも関わるという点をしっかり伝えていくということで決定した。その後、障害者、子育ての部門に共有させてもらった。
- (事務局) 昨年度のフォーラムの展示では男女平等の視点が薄かったのではとのご指摘だったが、企画団体からは男女平等教育、ジェンダー平等、衣食住と家計は男女でしょうという展示もあった。展示する場所なども今後工夫し、図書が作成したパネルなども活用していきたい。
- (事務局) 広報啓発事業の括弧書きは両方とも削除をお願いしたい。令和6年度の事業概要も同じように誤りであるため削除をお願いしたい。
市民意識調査でセンターの認知度が落ちていることについては、様々な啓発事業や地域での啓発、大学との連携などに取り組んでいるが、センターを知られていないことは課題と認識しているため、引き続きホームページやLINEなどで情報発信していく。また、講座後にYouTubeでアーカイブ配信するなど、働く世代や若年層などに知っていただき、次は行ってみようと思っただけのように取り組んでいく予定。今回のフォーラムでも、市民企画で久留米高専の中学生と保護者、家族連れワークショップなどが予定されているため、その場でも若年層、保護者にもしっかり広報していきたい。
- (委員) 基礎講座については、テーマ別のところで触れられるということだが、今の女性の生きづらさや男性の生きづらさがあるのか考えられる講座をぜひ考えていただきたい。
- (委員) 女性週間記念事業について、今回、良かったと思うところは、昨年広報活動が遅かったということで、今年は女性週間のパネルも貼ってあり、反省を生かして良くなっている。
1つ目は、市民グループ公募企画と同じだが、多様性という点で、昨年のフォーラムでも男女平等を少しかすったものがあって今回も続いている。特に、布小物づくりワークショップは、見出しだけ見てもジェンダー平等か分からない。多様性、多様性と言われると、男女平等の拠点施設としての役割が薄れていくのではないかと思う。若年層を増やしていかなければならないと言われるが、私も本当にそうだと思う。それならば、その方たちが、男女平等推進センターに関わってもらえるか、参加・参画してもらえるかの手立てやどのように対応していくのか、今まで足りていなかったと思う。多様性と言いながら幅が広がっていない結果、センターの認知度も低くなっていると思う。
2つ目は市民グループ公募企画について、最初の説明で幅広い企画と言われた。学校の教員をしていたので、自分の受け持ちに障害のある子どもがいたら積極的に受け持ってきた。発達特性のあるお子さんの具体的支援方法の話は良かったが、教職員やPTA、保護者が対象でしかなかったのではないかと思う。本当にジェンダーの視点となっていたかは疑問であり、男女の役割が出てきたが、それは保護者の役割であって、保護者が一緒の方向を向いて支援していかなければならないということが少しかすったのではないかと思っながら話を聞いていた。
3つ目に、今年度で第4次久留米市の行動計画が終わり、現在、第5次の策定中である。行動計画にある88の事業のうち、3分の1強がセンターの事業と絡んでおり、最終年度の今年度の事業について、足りなかったこと、今後力を入れていこうということなどあると思うので説明をお願いしたい。
それから、登録団体が51団体から37団体と減少しているが、どうして減っていったのか説明をお願いしたい。以上4点について回答願いたい。
- (事務局) フォーラムの布小物づくりワークショップの趣旨は、小学校高学年くらいから女子は体つきが変わり生理が始まるということでネガティブなイメージをもたないように、ハンドタオルにレースでポケットを付けながら、お話をしながらポジティブなものに変えられないかという取り組みと聞いている。10人の枠については、ワークショップのため1時間で10人を2回ということで、団体では企画をされている。女性だけ、女の子だけでなく男性が参加しても問題はない。
- (事務局) 市民グループ公募企画については、申請団体と打ち合わせを重ねる中で、障害を持つ人の中でも男性はなかなか関わってくれないこと、学校や教育でも支えてほしいという意

見を聞いた。そして当日は、講師から男性がもっと関わるべきとの強烈なお話もあって、タイトルだけ見れば障害者福祉課と思われるが、センターとしては市役所の中でジェンダー平等は横ぐしを通してしているのでセンターでやってよかったと思っている。

(事務局) 第4次久留米市男女共同参画行動計画の中には、男女平等推進センターの事業が多くあり、例えば、地域活動における男女共同参画の促進に当たっては、地域のまちづくり講座や出前講座の中でジェンダー平等の啓発を進めているが、地域に出向いた際に、性別役割分担意識や性別による偏見を感じるため、今後もきちんと伝えていく必要があると思っている。

また、DVや性暴力の支援については、関係団体と連携という仕組み作りはできているが、さらに医療関係者など関係団体への啓発をしっかりと行うことで、支援の広がりや相談を知っていただくことにつながるため、今後も関係機関との連携、研修、講座も、行動計画の取り組みの中で、引き続き強化していく必要があると思っている。

女性週間についての取り組みについても、全庁あげて取り組んでいくため、フォーラムで男女共同や女性の活躍などで各部が取り組んでいることをパネルで展示するなど、政策課と一緒に進めていくことが必要と思っている。

(事務局) 団体数の減少については、昨年度末に団体に説明会を行い、郵送で意向調査も行った結果、活動が休眠状態の団体は登録団体から外すことで整理したので37団体となった。確かに数は減っているが、実際に活動している団体に集中し、また今後は、起業応援セミナー等で自主グループができるような働きかけなど、登録団体を増やしていく工夫をしていきたい。

(委員) 利用者連絡協議会で総会の出欠を確認する際に、以前は51団体で、53団体の時もあったが、総会の出欠をきちんと行う団体は3分の1か、4分の1くらいで、出欠を出してもらうのに手分けして何度も電話をかけ、センターも苦勞して確認された結果、37団体に絞られたと思う。団体の登録や抹消を整理していくのは利用者連絡協議会でなくセンターでお願いしたい。また、37団体はきちんと活動されている団体と思うので、今後も活動を続けられるように支援していただきたい。

それから、多様性ということに危機感を感じている。なぜかという、男女平等推進センターが設立されたときは、男女平等を進める条例第15条で男女平等を推進する拠点施設として位置づけられていたのに、歴然とある男女差別を多様性でやっていくと、そこが薄くなり、拠点施設の意味が薄らいでいくと思う。こうしたところを、基礎講座の中などできちんと進めていってほしい。

(委員) 私は教育学が専門だが、研究という観点から今の議論について論点整理をしたい。2人の委員の今の論点は、男女平等推進センターができて四半世紀の間に、いわゆる伝統、発端のコンセプト、理念が風化しつつあるため、もう一度原点回帰した方が良いというご意見ではなかったかと思う。数学の定数と変数に例えると、理念とか目的は絶対変えてはいけない定数として残し、時代とともに変えていかなければならないものは変数として一定数は必要になる。ここを整理しながら進めていくということだと思う。

先ほど委員ご指摘の事業の基礎講座だが、トピックや事例があると参加者も楽しいし惹かれるかもしれないが、センターのそもそもの社会的・文化的背景や歴史があった上で進めていくと、さらに事例に対する理解や考えが深まる。冒頭に来るのが一番カリキュラム上ベストだが、概論はみんな嫌がるので、えーるピアの歴史とか、理念みたいな文化的背景を10分程度のトピック的な動画にして、帰ってから見てもらったり、事前学習で見ってもらったりと、反転学習をしてみてもどうか。歴史的・社会的文化的背景を知った上での理解の深まりは違うと思う。センターの運営理念やコンセプトを分かってもらった上でイベントに参加してもらえれば、認知度も上がっていくと思う。

その他 (1) 男女平等推進センターにおける課題と今後の対応について
(質疑なし)

その他 (2) えーるピア久留米ZEB化改修について

(委員) フォーラムの期間中は、印刷室やセンターサポート室の出入りや使用はできるのか、点検のために使用できないのか。

(事務局) 使用できるかどうかの最終判断は、試運転や性能検査等を経てとはなっているが、基本的には申入れいただければ使えると聞いているので、時期が近くなったらまた確認させてほしい。

(委員) 10月4日、5日のフォーラム当日は全館使用できるようお願いしたい。

(事務局) フォーラム自体は問題ないが、その他の日についてはZEB化工事を優先するため使えない場所も一部ありうるため、ご理解いただきたい。

(委員) 市民企画が資料印刷とかいろんなところで印刷室に出入りがあると思うので、その点はよろしくお願いしたい。(要望)

【質疑終了】